

一口レポート

実施日：7月09日

科目名：おもしろ「こども科学・手作りおもちゃ体験」科

講座テーマ：教養講座①

「放射線とは」「放射線教育の可能性」

講師：

音田輝元 先生

- ◆放射線、認識不足な部分が多々あった。勉強になりました。
- ◆古くから言われてきた放射能と、放射線の正しい認識のギャップに気付かされました。
- ◆放射線を止める α 線、 β 線、 γ 線、人間の強い味方がある事が分かりました。
- ◆放射線、3・11が遠ざかるに従い、記憶から遠ざかっていく……。高松CDの声がひびく教室は、久しぶりに活気を感じます。(拍手)フェスティバルに向けて、何かとあわただしい……。ウキウキ、ワクワク。
- ◆放射線と云うことばは聞いているが、子ども対象の授業ですが、大人にも大変おもしろい内容でした。
- ◆忘れかけていた放射線……。今一度、考えてみる時間ができました。
- ◆すごい、勉強になりました。
- ◆今まで、これ程、放射線が身近に感じていませんでした。再認識！
- ◆放射線が屋外、屋内で異なる事、陸上、海上で異なる事を予想で当てることができた。発電所の件は複雑だ。
- ◆原子力、放射線との関わり方、利用方法をしっかり考えていくべきことですね。
- ◆放射線、怖いというイメージがありますが、身近に沢山あることがわかりました。効用は？
- ◆放射線の本質がたいへんよく理解できた。放射線のマイナス面も多いが、その性質を利用した用途の掘り下げもあった方が良く思う。
- ◆放射線は使い方によって、いいところもありますが、原子力発電にたよらず、自然発電の開発が早く進めばと思います。
- ◆放射線、目からうろこ。
- ◆頑張りマス！！
- ◆忘れかけていた福島の問題を改めて、忘れてはいけないなと心あらたにしました。
- ◆楽しいお話でした。
- ◆日常では、考えた事の無い放射線について、詳しく理解出来た。
- ◆実験をとまなわない授業時に一工夫して、どう授業に山場をつくるかも考えて行ったら……。と思います。
- ◆放射線について、大ざっぱな知識しかなかったが、よくわかった。子どもたちには、本当に伝えたい授業だと思いました。
- ◆放射線は、使い方によっては、危険が高いが、人間が生きていく上で必要なものにもなるでしょうネ！（レントゲン等）
- ◆分かりやすい内容でした。勉強になりました。
- ◆放射線について、少し思い違いがあった。

- ◆放射線は、地球上、自然界にないものと勘違いしていた。食べ物の中から、放射線が出ているとは思わなかった。
- ◆今日の授業は、今までのテーマとは、少し異なり、子ども達も静かに聞くとします。正しく客観的に教えるのは難しいことです。
- ◆放射線について、詳しく知る事が出来、日本の事として、考えて行く必要があると思いました。
- ◆放射線についてのお話をこれ程たくさん教えて頂いた事も無ければ、勉強した事もなかったです。良かったと思います。
- ◆危険と安全を考えさせられる理屈は、大変むづかしい。
- ◆放射線を恐れる事無く、身近な存在であり、良く理解する事が大変重要だと知りました。
- ◆知っているようで、知らないのが放射線です。とても勉強になり、ためになる授業です。
- ◆食べものの一割くらいは放射線が出ているとは、びっくりです。
- ◆放射線とは、勉強になりました。使い方をよく考える必要が大切。
- ◆放射能と放射線の区別も知らなかったのも、勉強になり、楽しかった。
- ◆放射線は、英知の結果であり、取扱いによって、人類の破滅をもたらす。狭い地球上で、人類の平和により、活用したい。
- ◆日常生活の上で、大変参考になる授業でした。最後の結びでは、大変難しい選択でした。
- ◆次世代の子ども達の為に、何かしてやらねば、原発事故が起こってからでは遅い。
- ◆放射線、身近なものでありながら、知らないことだらけでした。
- ◆放射線の授業は、初めてでした。良い勉強になりました。子ども達に何かインパクトを与える方法があれば と思います。例えば、広島原爆を取り入れてみては と思います。

たかまっちゃんの一〇レポート

放射線の講座、知らない事ばかりというか、日頃大阪に住んでいるわたしにとって、いかに意識していないかが、わかりました。物について、正しい知識で見つめるということが如何に大事か、まちがった噂に惑わされない事ですね！